

鹿角の安心・安全を守る

消防

防火衣

消防活動の際は防火衣を着用します。頭部を守るため、ヘルメットにはしころが取り付けられ、腰ベルトには安全帯を装着できます。



感染防止衣

救急活動の際は、感染防止衣を着用します。あらゆる感染に対応するため、ゴーグルとマスクも着けます。



救急

皆さんの安心・安全を守るため、鹿角広域行政組合消防本部では、日々訓練や設備の点検を行っており、いつでも迅速に対応できる体制が整えられています。鹿角広域行政組合消防本部の設備や消防士にフォーカスを当て、消防・救急活動の実態に迫ります。そこには、皆さんの危機を救うため、日ごろから準備を万全にする消防士の姿がありました。

鹿角消防本部 総務課
23・5601
鹿角消防本部 総務課
23・5601
鹿角消防本部 総務課
23・5601
鹿角消防本部 総務課
23・5601

KAZUNO 広報かづの施設見学
広報担当が市内施設を紹介します



眠らない消防署

鹿角消防署では、日夜、鹿角管内の火災・救急業務にあたっています。

消防士の勤務体制は、24時間勤務の交代制であり、勤務時間は、8時30分から翌日8時30分まで、10人から12人が訓練や装備の点検を行いながら、常に出勤に備えています。消防署内には、そうした丸1日の勤務ができるよう、食堂や仮眠室、浴室などが完備されています。

夕食は、火事や事故が起こりやすい時間帯を避け、一般的な夕飯時間よりも早い時間にとります。また、夕食を作るのは当番制で、毎日1人の消防士が作ります。献立も当番が考えているそうで、おのおのが自慢の手料理を振舞います。

夜間は、消防指令センターに届く119番通報に対応できるよう、交代で通信業務にあたるほか、急な出勤に対応できるよう、服を着たまま仮眠をとります。

鹿角消防署は、仮眠室が出勤準備室と併設されており、仮眠中でも出勤指令が出ると、すぐに出勤態勢がとれるようになっていきます。また、仮眠室のすぐ横に自分の防火衣など装備品を入れるロッカーがあり、常に着用しやすい状態で整理しておくことで、1秒でも早く出勤できるような工夫をしています。



質の高い消防・救急活動

消防指令センター

鹿角・小坂管内の119番通報は、鹿角消防本部の消防指令センターに入電します。状況を確認しながら、「予告指令」を署内に流し、消防士は出勤準備に取り掛かります。「本指令」を流し、すぐに消防士が出勤します。携帯やパソコンから通報できる「ネット119」にも対応しています。



出勤準備室（車庫前）

出勤準備室は、消防士が出勤する準備を行う場所です。第1車庫に併設され、身支度を済ませた消防士が、すぐに車両に乗り込んで出勤できるようになっています。車庫前には、モニターが設置され、現場の地図や通報の状況などを出勤前に確認できます。



屋内訓練場

鹿角消防署には、主訓練棟と副訓練棟が整備されています。そのうち、副訓練棟は第2車庫に併設され、屋内での訓練が可能になりました。この設備により、天候に関係なく、いつでも訓練ができ、消防・救急活動の技術向上に役立っています。



訓練で素早い対応を実現！

どんな時でも

2分で出勤！

迅速に対応する

消防士たち

119番通報

通報入電！



119番通報に消防指令センターが対応。通報とともに署内に予告指令を発令。消防士は出勤準備に取り掛かります。

消防準備室へ

通報から30秒後



予告指令が流れると、消防士は訓練や事務を中断し、素早く出勤準備室に向かいます。

防火衣に着替える

通報から40秒後



出勤準備室では、あらかじめ着替えやすいように整頓された防火衣に素早く着替えます。

出勤準備室から車庫へ

通報から1分30秒後



本指令が発令されたら、出勤準備室のモニターに映し出された場所を確認し、車庫にある消防車に乗り込みます。

消防車出動！

通報から2分後



乗車後、すぐに出勤します。出勤後は無線で詳しい場所や状況を確認します。